



新年のご挨拶

サイクルーズグループ 代表 福田 隆

新年おめでとうございます。本年は、会社としても個人としても節目の年になります。

当サイクルーズグループの主要事業会社である東港金属の創業120周年、前社長の急逝による社長交代から20年目、そして私は年男となります。毎年いい年にしようと思って過ぎてきましたので、改めて節目ということもないのですが、いつも以上に気合を入れて臨む一年にしたいと思っており。一昨年に打ち出された、“気候変動対策のために温室効果ガス排出を2050年実質ゼロ”ということが昨年、加速しました。リユース、金属リサイクル、廃プラリサイクル等、社内循環システム構築など当社グループ全力でサーキュラーエコノミーの実現に向けて邁進したいと考えております。皆様方に置かれましては、仕事のどんな場面でも（リユースのこと、廃棄処理のこと、リサイクル、産廃電子契約についてなど）ちょっと聞いてみたいことがあれば、遠慮なく弊社にお尋ねいただければ幸いです。今年も皆様方が良い年でありますように祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

Market Forecasts by Y. san -1月-

12月予測の自己評価 鉄スクラップ；× 銅；× アルミ；○

鉄スクラップ

12月は指標となる東京製鉄宇都宮工場特級価格55,000円/トンでスタート。その後、500円/トンづつ3回下がり28日現在で53,500円/トン。関東鉄源協同組合の輸出入札が2か月連続で落札がなかったことを考えると国内価格も来年1月はジリジリと下がると思われます。

銅

12月はLME9,600ドル台/トン国内銅建値1,130,000円/トンから始まりオミクロン株の感染拡大に対する懸念から28日現在LME9,500ドル台/トン、国内銅建値1,140,000円/トンと大幅下落で終わりました。来年1月は円安ですがLME在庫増・オミクロン株の感染状況を考えて下がると思われます。

アルミ

12月はLME2,600ドル台/トンでスタート。原油価格の上昇により電力不足で、28日現在アルミの生産価格はLME2,800ドル台/トンまで上昇しました。来年1月はさらに上がると思われます

産業廃棄物

新型コロナウイルス感染によるオフィスの閉鎖や縮小による移転もだいぶ落ち着き、不要什器はリユースが進み、産廃自体も減っているようです。今後は少ない廃棄物から自社内で少しでも多くの有価物を取り出す工夫が課題になるでしょう。輸出だけに頼ってはいは生き残れなくなる時代になりました。

Topics

「カーボンニュートラル」ってなあに？

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO2)の濃度上昇を抑制していく方法として、いま全世界が取り組んでいるのが「カーボンニュートラル」です。「カーボンニュートラル」とは具体的にどんなことを想像されますか？今回は、経済産業省・資源エネルギー庁が紹介している温暖化対策の中の「カーボンニュートラルとは」の解説と、環境省の資料から国、企業の取り組み以外に個人で出来るアクションをご紹介します。

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。日本が目指す「カーボンニュートラル」は、CO2だけに限らず、メタン、N2O(一酸化二窒素)、フロンガスを含む「温室効果ガス」を対象にするとしています。注目すべきはこれらの温室効果ガスについて、「排出を全体としてゼロにする」と述べているところです。「全体としてゼロに」とは、排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすることを意味します。排出を完全にゼロに抑えることは現実的に難しいため、排出せざるを得なかった分については同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロ、正味ゼロ(ネットゼロ)を目指しましょう、ということです。これが、「カーボンニュートラル」の「ニュートラル(中立)」が意味するところです。そのためには、まずは排出する温室効果ガスの総量を大幅削減することが大前提となります。排出量ゼロにすることが難しい分野では、削減が難しい排出分を埋め合わせるために、「吸収」や「除去」をおこないます。例えば、植林を進めることにより光合成に使われる大気中のCO2の吸収量を増やすこと等が考えられます。気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されています。国民一人ひとりの衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスが我が国全体の排出量の約6割を占めるという分析もあり、国や自治体、事業者だけの問題ではありません。将来の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるため、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、誰もが無関係ではなく取り組む必要があります。環境省から個人に推奨されている「ゼロカーボンアクション30」があります。詳細は次のアドレスからご確認ください。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20210826-01.html>
主だったものをご紹介します。

1. 電気等のエネルギーの節約や転換・節電・節水
2. 住居関係・省エネリフォーム
3. 移動関係・スマートムーブ(徒歩、自転車・公共交通機関・エコドライブ)
4. 食関係・食事を食べ残さない、買物や保存等での食品ロス削減の工夫
5. 衣類、ファッション関係・今持っている服を長く大切に着る
6. ごみを減らす・マイバッグ、マイボトル、修理や補修をする
7. 買い物・投資・より簡易な包装の商品を購入、個人でESG投資
8. 環境活動・植林やごみ拾い等の活動

Series

「私のふるさと」第4回



総務人事部 打田 明絵

こんにちは、総務人事部の打田です。羅針盤での投稿も4回目となりました！最終回となる今回は学生時代を過ごした群馬県についてお話しさせていただきます。

生まれは三重県ですが、小学校低学年から高校卒業までは群馬県前橋市に住んでいました。毎年元日に開催されるニューイヤーマラソンで発着地点となる群馬県庁があるのが前橋市です。選手の方々が見慣れた景色を走っているのが嬉しくて、ニューイヤーマラソンを見ることは打田家のお正月の楽しみの一つとなっています。10年ほど暮らしましたが、学生時代のほとんどを習い事や部活動に費やしていたので、群馬らしいところに行く機会はあまりありませんでした。いまだに草津温泉も水上のスキー場も訪れたことがなく、私より群馬の観光地に詳しい方は大勢いらっしゃるかと思います。群馬に引越して驚いたのは、風の強さと雷の多さです。冬になると「上州のからっ風」と呼ばれる北西からの強い風が吹き、向かい風のときは歩くのもやっとなぐらいです。中学高校と自転車通学だった私は、毎日のように今日風強い？と母に確認し、家を出る時間を調整していました。夏は夕立も多く、通学中に散々な目に遭うこともありましたが、苦手だった雷にはだいぶ耐性が付きました。

小学校では上毛かるたの大会がありました。「上毛かるた」とは1947年に発行された群馬の郷土かるたで、群馬県の名所や偉人が札になっています。同級生には読み札を暗唱している人が多くいました(私は全然覚えられませんでした)。社会人になってから、高校時代の友人と、上毛かるたの読み札を全部覚えていたかゲームをしたことがありますが(もちろん私は出題者側で参加…)、群馬出身3人で あ〜わ まですべての札を思い出せるくらい地元で根付いているようです。また、今回は紹介することができませんでしたが、前橋音頭をアレンジした「だんべえ踊り」と呼ばれる踊りや地元のお祭り、焼きまんじゅう、ひもかわうどんといった郷土料理など独自の文化が数多くあります。三重から引越してきた私にとっては戸惑うこともありましたが、様々な文化に触れて楽しい学生生活を送ることができました。群馬県は都心から日帰りでも行ける距離なので、機会があったら是非遊びに行ってみてください。

コロナの感染者数がやっとな減ってきたかと思いきや、新しい変異株の発生などと落ち着いた状況が続いていますが、2022年は行きたい場所に気兼ねなく行ける、そんな日常が帰ってくる年になることを祈っています。

回に亘ってお付き合いいただき有難うございました。完

